

学校名 南種子町立西野小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>西野小学校は、長年にわたりPTAと連携を図り、ウミガメの保護活動と関連付け、海岸清掃等の美化活動を推進してきた。</p> <p>継続した活動を通して、児童に自然環境を守ることの大切さを体感させ、環境美化に関する児童の意識を高めている。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月 ② 活動の愛称名があれば記入して下さい ③ 月間又は年間活動回数	<p>西野小学校では、種子島の自然に親しみ、生き物の命を大切にすることを目的として、ウミガメの孵化・放流活動を行っている。</p> <p>そこで、ウミガメが産卵のために上陸する前之浜海岸の自然を守ることを考えて、前之浜海岸の清掃活動に取り組んでいる。PTA活動の一環として、年に一回親子での清掃活動に取り組んでおり、今回で21年目を迎えた。</p> <p>また、5・6年生の総合的な学習の時間では「環境」をテーマに取り組んでおり(隔年)、令和5年度はこの活動と関連させ「海洋ごみ」についての探究学習を行った。</p> <p>・PTA親子ふれあい活動「前之浜海岸清掃」 ・5・6年総合的な学習の時間 「海をきれいに、前之浜プロジェクト」</p> <p>・PTA海岸清掃・・・年1回(5月) ・5・6年総合・・・通年</p>

様式2(散乱防止活動用-2)

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	前之浜海岸付近
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA海岸清掃・・・約60人 ・5・6年総合・・・児童10名
⑥ 活動1回当たりの平均時間	・PTA海岸清掃・・・約2時間
⑦ 収集物の処理	分別し,リサイクル及び可燃処分
(2) 活動の独創性 活動の特徴	ウミガメが産卵のために上陸する前之浜海岸の清掃を行う。子供たちに海洋保護という広い視野をもたせる活動。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	地域住民や観光客などが訪れる前之浜の景観を保つことに貢献している。
② 地域住民との協力活動	<p>本活動にあたっては,町役場の協力を得て,回収物の処理等の対応を確立している。また,ウミガメの孵化・放流活動に関しては,ウミガメ保護監視員の方の御指導,御協力をいただいている。</p> <p>5・6年生の「前之浜プロジェクト」においては,学習の成果を地域住民の前で発表した。また,学習のまとめとして作成したパンフレットを,校区内・町内の公共施設や店舗に掲示させていただいた。</p>
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	子供たちの活動に対しては理解を示し,学校評議員会等で肯定的な意見をもらうことができている。

様式2(散乱防止活動用-3)

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	前之浜海岸の清掃活動をとおして,環境保全や海洋保護への意識付けができた。SDGsとの関連も図ることができた。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	活動に対して,大変意欲的に取り組む姿が見られた。校内や地域の清掃活動においても,進んで活動に取り組んでいる。分別など,ごみ問題に関する意識の高まりも見られた。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	・日常的な清掃活動
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)	なし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	PTA活動として実施
3 その他特記事項	特になし

環境美化教育活動報告書


南種子町立西野小学校

I PTA親子ふれあい活動「前之浜海岸清掃」

1 目的

本校では、ウミガメの孵化・観察・放流活動を行っている。ウミガメの産卵地であり、孵化した子ガメの放流場所でもある前之浜海岸を観察・清掃することで、ウミガメが生息できる環境の保全に努める。また、本活動を通して、校区の海洋環境保全の理解を深めると共に、主体的に美化活動に取り組む児童の育成を図る。

2 活動の位置付け

	内容	実施月	詳細
1	ウミガメの卵の孵化準備	5月 ～ 6月	ウミガメ保護監視員の本東孝治さんに、ウミガメの卵を届けていただいた。その卵を、校内に設置した卵の孵化場に、子供たち一人一人が埋めていった。実際に卵に触れることで、子供たちのウミガメに対する愛着が高まった。 
2	ウミガメの観察	孵化準備が整い次第	子供たちがローテーションを組んで、卵の孵化場の温度測定を行っている。砂の積算温度を測ることで孵化のおおよその見通しをもつとともに、孵化場に異常がないか全員で確認をしている。
3	保護員による講話 (隔年実施)	5月 ～ 6月	本町におけるウミガメ保護員の協力の下、ウミガメの生態や必要な環境保全、放流活動の意義について体験を交えた講話を実施し、清掃活動から環境保全活動へ児童の意識が高まるきっかけの一手として講話を設定している。
4	前之浜海岸清掃	5月 下旬	PTA親子ふれあい活動として実施。 詳細については後述。
5	ウミガメの放流	8月 ～ 9月	卵が孵化した当日、前之浜海岸での放流を行った。子供たちは、自分たちが清掃した海岸を子ガメが歩く姿を見ることで、環境保全への意識がさらに高まることが期待される。

3 活動の実際(令和6年度の実際)

- (1) 日時 令和6年5月25日(土) 午前8時~午前10時
- (2) 場所 前之浜海岸(本校校区)
- (3) 参加者 児童,保護者,職員(約60名)
- (4) 実際の流れ

ア 事前の活動

平成15年から始まった本活動は,現在PTA活動の一環として取り組んでいる。そのため,準備に当たっては,PTA運営委員会が中心となり,企画・運営を行っている。

4月の運営委員会を皮切りに,町役場との連絡調整や役割分担など,主体的に行っている。

イ 清掃活動の内容

海に注ぐ河口に向けてごみを拾っていった。拾い残しがないように,「ローラー作戦」で作業を行った。

親子や友達どうしで協力してごみ拾いを行った。今回は,拾ったごみの後処分のことを考慮し,清掃センターで引き取ってもらえる缶・びん・ペットボトル等のごみを中心に回収を行った。



河口をゴール地点とし,拾ったごみの砂などの汚れを落とすことで,リサイクルセンターで回収できるようにした。中学年から高学年を中心に,積極的に作業に取り組んでいる。



大量のごみを拾い,活動の目的を達成することができた。集めたごみは,種類ごとに分別を行った。



II 5・6年総合的な学習の時間「海をきれいに、前之浜プロジェクト」

1 目的

「ウミガメの産卵地を守る」という目的のもと行っている海岸清掃であるが、活動回数としては年1回であった。そこで、この活動の教育的価値を高める意味でも、この活動をきっかけとした学習活動の展開を考えることとした。

具体的には、5・6年の総合的な学習の時間において、「環境」という大テーマ（隔年）の学習で「海洋の環境保護」という視点をもたせ、身近な海洋の環境保護やごみ問題について考えるきっかけとした。

2 活動の位置付け

	内容	実施月	詳細
1	前之浜海岸清掃	5月 下旬	前述のとおり
2	5・6年総合的な学習の時間「海をきれいに、前之浜プロジェクト」	5月 下旬 ～ 2月	① 海岸清掃をとおして気付いた海洋ごみについて問題意識をもつ。 ② 他地域で海洋ごみ問題に取り組んでいる人の事例を聞いたり、自分たちで調べたりする。 ③ 前之浜海岸に「拾い箱」を設置する。 ④ 活動をとおして分かったことや考えたことを、保護者や地域住民に発表する。 ⑤ 活動の結果をパンフレットにまとめ、地域（町内）住民に啓発する。

3 活動の実際

(1) 学習のはじまり

5月の海岸清掃の後、子供たちから「(処分できないため)拾わなかったごみはどうすればよいのか。」という疑問が出された。

そこで、この疑問を今後の学習へつなげるため、与論で「拾い箱」の活動をしている池田龍介さんに連絡を取り、リモートによる授業を行っていただいた。

子供たちは、池田さんの活動を参考に、前之浜海岸で同じような活動ができなにか検討し、池田さんと同じ拾い箱の取組を行うこととした。

(2) 学習の展開

拾い箱の設置については、設置の可否について行政機関にも相談をした。その結果、熊毛支庁をとおして設置の許可をいただき、1学期の終わりに前之浜海岸に設置をした。



拾い箱に入れられたごみは、定期的に担任が学校へ持ち帰った。2学期になり、子供たちによる分別作業が行われた。



(3) 学習の成果発表

11月に開催された「西野フェスティバル」では、各学級による学習発表会が行われ、保護者や地域住民など、多くの方が参観される。5・6年生はこの場において、「前之浜プロジェクト」の成果発表を行った。

昔話「浦島太郎」をモチーフにしたオリジナルの台本による劇で、海洋ごみの問題について啓発する内容であった。この劇の小道具として、拾い箱をとおして回収したごみも使用し、前之浜海岸に落ちているごみの種類や多さに対し、観客にも興味をもってもらうきっかけとした。



この発表を一区切りとして、回収したごみの処分を行った。

当初は子供たちの手でごみ処理場まで運ぶ予定だったが、清掃会社の方が収集に来てくださるとのことであったので依頼をした。

収集当日は、5・6年全員で清掃会社の方にあいさつをし、収集を見届けた。



(4) 学習のまとめ

この学習をとおして子供たちが分かったことや考えたことを、パンフレットにまとめた。作成したパンフレットは、多くの方に見ていただくために、公共施設や店舗などに置かせていただいた。

南種子町役場の他、西之地区郵便局、トンミー市場など、多くの人が集う場所に置くことで、子供たちが取り組んだ活動を知ってもらい、海洋ごみの問題に関心を高めてもらうきっかけとした。



Ⅲ まとめ

前之浜海岸清掃を毎年行っていることで、海洋環境保護への子供たちの関心は高い。それに加え、令和5年度は5・6年の総合的な学習の時間において海洋ごみの問題を主テーマとしたため、子供たちは例年以上に高い関心をもち、自分事として捉えることができた。

このテーマは隔年実施のため本年度は行われませんが、令和7年度の5・6年生が海洋環境保護の学習をさらに深められるよう、計画を進めていきたい。